

H22. 5.14 (金) 岐阜新聞

ニート防止へ 相談員を派遣

県若者サポート
ステーション

若者の就労支援施設「県若者サポートステーション」(岐阜市)は17日から、高校中退者や高校在学中で不登校になっている生徒らの自宅を専門相談員が訪問し、進路相談にのるサービスを始める。抜け出すのが難しいとされる、進学も就職もしない「ニート」状態になるのを防ぐ厚生労働省の委託事業。進路が決まらない中退から一年程度の若者や、ひきこもり状態になっ

て中退の可能性のある高校生らが対象。相談員は施設を運営する若者自立支援のNPO法人ICDS(名古屋市中区)のスタッフで、県内全域に派遣。家庭の戸別訪問のほか高校で生徒に職業観を身に付けてもらうセミナーも行う。悩みを抱える親や高校教員から派遣の申し込みを募っている。派遣は無料。問い合わせは同施設、電話058(216)0125。(小森直人)